

戦後80年  
平和都市宣言40年

# 伝える・祈る・つなぐ

問 企画政策課・内線568

## 伝える

～平和の尊さを後世に～

### 平和の象徴

手賀沼公園には、さまざまな平和の象徴が設置されています。実際に見て、触れて、平和の尊さや戦争の悲惨さについて改めて考えてみてください。設置場所を記載したマップなど、詳細は市ホームページをご覧ください。



▲市HP



▲平成28年、我孫子市原爆被爆者の会が平和の記念碑のそばに植樹した「陽光桜」



▲平成24年、被爆後の広島・長崎で奇跡的に新たな葉を芽吹き人々に希望を与えた被爆樹木の苗木を広島・長崎市から譲り受け、その年の長崎派遣中学生が植樹した「被爆アオギリ2世(左)」「被爆クスノキ2世(右)」

◀平成27年、広島平和記念公園から種火を譲り受け、その年の広島派遣中学生が平和の記念碑のそばに点灯した「平和の灯(左)」と、昭和60年、被爆した旧広島市庁舎の側壁と敷石を我孫子市原爆被爆者の会が広島市から譲り受け、翌年に市が建立した「平和の記念碑(右)」

## 禎子鶴

広島平和記念公園にある「原爆の子の像」のモデルとなった佐々木禎子さんが、生前に折った貴重な折り鶴です。市の平和事業に共感した禎子さんの兄・雅弘さんと甥・祐滋さんから寄贈され、アビスタに常設展示しています。

禎子鶴は、被爆後に白血病を患った禎子さんが「生きたい」と願いながら、葉やキャラメル包装紙で折り続けた鶴です。原爆の子の像は、願いかなわず12歳という若さで生涯を終えた禎子さんを思い、同級生らが建てました。

## 平和のうた

禎子さんの甥・佐々木祐滋さん(シンガーソングライター)に、平和を祈念する歌を制作していただきます。歌詞は、平和事業推進市民会議が作詞します。12月に開催する「平和の集い」で披露する予定です。

この度、戦後80年・平和都市宣言40年の記念事業である「平和のうた」を制作させていただくこととなりました。平成27年に、禎子の遺品の折り鶴を寄贈したことがきっかけで我孫子市とつながりましたが、その時から市の平和活動や平和への関心の高さに感嘆しています。市の平和への思いを一つにできるような楽曲を、心を込めて作ります。

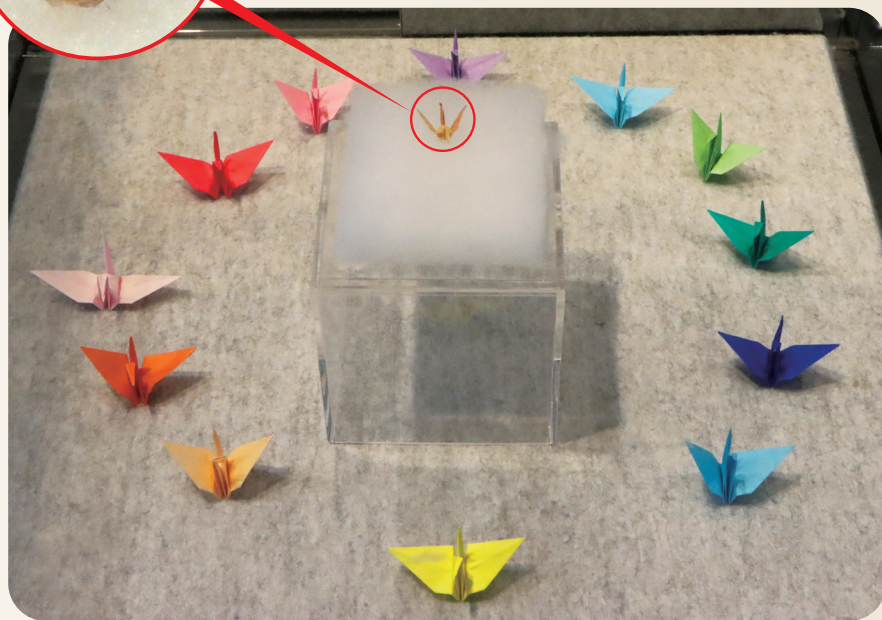
佐々木 祐滋

▲佐々木禎子さん



## 祈る

～折り鶴に込めた思い～



▲リレー講座の様子

## 広島・長崎中学生派遣とリレー講座

平成17年度から毎年、市内中学生の代表者を広島・長崎へ派遣し、平和記念式典への参列、資料館の見学などを通じて被爆の実状を学ぶ事業を実施しています。派遣された中学生は、8月の市の平和祈念式典や、12月の「平和の集い」で報告を行います。

平成27年には、歴代派遣中学生の発案で「広島・長崎派遣中学生リレー講座」を開始しました。高校・大学生になった歴代派遣中学生が、現地を見て、聞いて、感じたことを小学生に伝え、戦争や平和について共に考える授業です。これまでに9,700人以上の小学6年生が受講し、平和への思いがリレーのバトンのように次世代へつながっています。



▲令和6年度派遣中学生(広島)

## つなぐ

～未来を生きる子どもたちへ～



【平和の木】 リレー講座を受けた小学6年生の子どもたちが「平和な世の中にするために今から自分ができること」など、平和への思いを葉の形をした紙に書き、大きな木を作ります。市内各小学校で作成し、教室などに掲示しています。 問 企画政策課・内線568